



健康一口メモ

仙台市医師会
広報委員
三浦 元彦

コロナ禍が始まって丸2年が経過し、コロナ禍で迎える3度目の新年度がスタートしました。

2020年の3月は、武漢で始まった新型コロナウイルス感染症がヨーロッパで猛威を振るい、また国内でも有名人の死亡が報道され、治療薬もワクチンもなく、とても不安な気持ちで4月を迎えました。

2021年の3月は、東日本大震災発災から10年などによる人の移動で、宮城県が一時、全国一になるような感染拡大が起きましたが、治療法がある程度確立し、ワクチン接種もスタートしたため、一筋の光明が見え始めたタイミングでもありました。

2022年の3月は、オミクロン株の感染拡大により過去最大の感染者数の増加がみられましたが、一方で、治療薬もある程度選択肢が増えてきて、重症化の予防としての治療効果が実感されるようになってきました。

このように新型コロナウイルス感染を取り巻く環境はだいぶ変わってきましたが、感染を予防する基本的な対処は変わりません。飛沫や手指を介して感染が広がる新型コロナウイルスに

コロナ禍で迎える3度目の新年度



今は
しっかり
感染対策

2022年2月24日 寄稿

〔東北労災病院／青葉区台原〕

対して、「不織布マスクの着用」と「手指消毒」の2つが最も大事で効果的な感染対策なのです。密閉された空間で、マスクを着けずに、大声でしゃべったり歌ったりする際に、感染リスクが高まります。極端な話、居酒屋で全てのテーブルが満席でも、それぞれがマスクを外しての会話をせず、手指衛生を適切に行えば、感染は起きません。われわれの病院では、職員一人一人が、自分がすでに感染しているかもしれないという前提で、先ほどの2つの感染対策を意識して行動することにより、クラスター発生の阻止に努めています。いくら行動制限をしても基本的な感染対策が不十分では、感染拡大は防げません。逆に適切な感染対策を継続していれば、可能な行動や社会活動も増えてきます。

来年こそは明るい気持ちで4月を迎え新生活がスタートできるように、そして何より感染対策が不要になって花見を楽しめるように、みんなで頑張ってください。



おかげさまで
90TH
ANNIVERSARY
もっともっと、
「しんきん感」向上宣言!

杜の都信用金庫は
「地域社会発展のために設立された地元の信用金庫」

であるという原点のもと、
“もっともっと、「しんきん感」向上宣言!”
のスローガンを掲げ、
地域やお客さまが抱える課題解決に
貢献できるよう努めてまいります。

Shinking with you.

杜の都信用金庫

